

町政を問う！



砂田雅一 議員

水道事業の一部民間委託について

問 今回提案している委託の自身は「開栓、休栓の管理。水道料の請求と徴収。滞納者への相談や支払いの請求など水道料の窓口業務全般で、柳井市上下水道窓口業務の受託業者に委託する」という説明であり、目的は「町の支出抑制のため。及び、国自体が水道事業の合理化・経営改善を働きかけており、最終目標は県東部の水道事業統合だが、まずは事務の共通化・一元化」だと答弁している。

窓口業務の根幹である個人情報保護の観点から心配がある。誰が滞納しているとか、誰がど

れぐらい水を使っているなどの情報を民間の業者が知りうることになる。

委託先の『フジ地中情報㈱』は、外資系の国際的大企業の傘下にあると言われているが、どういう会社か。

答 個人情報の保護については町の個人情報保護条例29条と34条を委託業者とその従業員に退職後も適用させる。

「フジ地中情報㈱」は、フランスのヴェオリアジャパンという企業のグループ会社であるとの記載がある。

問 町の仕事は「できるだけ地元の仕事者に発注して経済効果を」などと言われているが、地元とは縁もゆかりもない大企業である。

答 柳井市が先行してこの業者に委託しているの、同じ業者に委託すれば少しでも安くなら

問 地方自治法施行令158条では使用料・手数料等の徴収は「住民の便益の増進に寄

与する場合に限り委託できる」とある。

しかし、町が主張する『目的』は、町の予算の縮減や水道事業の統合の第一歩と主張しており、町民の便益の増進ではないと思うが。

答 守秘義務を業者に徹底させる。

米軍機の事故に関する報告書について町民の生命・財産を守る対策を求める

問 昨年12月に高知県沖で、米軍岩国基地所属の空中給油機と戦闘機が空中給油訓練中に接触し墜落事故を起こした際の報告書を米軍が公表した。

深刻なのは、訓練に参加していた2人のパイロットの尿から睡眠薬の成分が検出されたり、部隊内には、薬物乱用やアルコールの過剰摂取、



空中給油機（上）の給油管を接続し、給油をおこなう米軍戦闘機（手前）
— 米海兵隊事故報告書から —

命令に違反する行為などが横行しているなどの実態が報告されたことだ。

この部隊は、2016年4月にも沖縄県沖で空中給油中に事故を起こしている。これは、その下で暮らす町民の生命をも脅かされかねない事態だと考える。これまでとは危険度のレベルが違う事故という認識はあるのか。

「大島上空を飛ぶな！」という要求をしていくべきだ。

答 大島上空を飛ぶなどと言っても現実的な話ではない。

しかし、騒音の問題等とは全く異質な深刻な問題であると認識しており、これまでの政府等への要請とは違う方法を考えている。

今回もそういう立場で、防衛省への申し入れをおこなった。